

# 市民活動連携による「森にいこう！」プロジェクトについて

## I プロジェクトの概要

### 1. プロジェクトの目的

鎌倉に残された自然性の高い森は、市民・日本人にとって価値の高い資産であり守っていききたい。守るための活動は多様であるが、何かの活動をするにしても、関心を長続きさせ、活動を地についたものにするため、まず「知る」とする「親しむ」「好きになる」ことから始めるのがよい。そして幅広い多様な方々（諸々の障がいをもつ人ももちろん対象）に関心をもってもらうことによって、森を守るための力を大きくすることになる。そのための「入口」の役割を持つのが本プロジェクトである。

### 2. 現在連携している主な組織と人

#### (1) 公益社団法人 日本シェアリングネイチャー協会

##### 【活動の目的】

人と人をつなぐ、ネイチャーゲームをはじめとするシェアリングネイチャー活動の普及、推進を通して、『自然を楽しみ、自然と遊び、自然から学ぶよるこびに満たされた生活を送る人々』を増やしていきたい。

##### 【今回の鎌倉でのプロジェクトのインストラクター】

三好直子さん(協会専務理事 連絡先住所:横浜市戸塚区川上町)

#### (2) 「Bamboo Kamakura～鎌倉の森を残し伝える会」(2018年春から活動)

主に、①竹の間伐イベントと②竹の文化イベント(食べる、触る、つくる)を)の情報発信を地域にオープンにしつつやっている。

主宰は長谷川孝一さん(NPO「地球の楽校」代表理事および「海の子森の子クラブ」校長)

#### (3) 鎌倉市 NPO センター

地域の課題に取り組む NPO の協働とボランティア活動を支援している。

センター長は西畑直樹さん。鎌倉市の「緑」を守るための諸活動に関わっている。

#### (4) 「鎌倉広町緑地」

今回のプロジェクトの現場自域として選択した場所。

##### ① 「鎌倉広町緑地」とは

宅地開発と緑保全との選択で議論が揉めた鎌倉市の広町の緑地を、市は「都市林(主として動植物の生息地または生育地である樹林地等の保護を目的とする都市公園)」として保全を図ることとし、平成15年12月に、開発が予定されていた事業用地を県、市及び市土地開発公社が取得した。その後、市が用地の取得を進めるとともに、市民活動団体等と市との協働で保全活動などを行ってきた。そしてまとまりと安定した生態系が将来にわたって持続できる環境を目指して、維持管理を行っている。

##### ② 鎌倉広町緑地管理事務所

鎌倉広町緑地には市の施設の「鎌倉広町緑地管理事務所」がある。

2016年4月より、鎌倉広町緑地の指定管理は鎌倉広町パートナーズが行っている。

##### ③ プロジェクトに関係する人

##### 望月高明さん

緑地管理事務所の指定管理者で鎌倉広町パートナーズ総括

広町緑地のプロジェクトで関係者が現地活動する上で非常にお世話になります。

(5) 星野英俊先生(特別支援学校教諭)

「はっぴオールスターズ」という音楽とダンスを融合させた独特のパフォーマンスのグループを率いている。そのメンバーを、荒れた竹林を自然の状態に戻す活動としての極楽寺での竹間伐隊に参加させている。

(6) 認定 NPO 法人横浜移動サービス協議会

障がい者の移動を支援する様々な活動をしている。現在、本協議会メンバーが共有する言葉は、『“移動”は目的ではなく“移動の先に待っていることがある”』。その中には、自然性のある森も含まれる。

本プロジェクトに関わる人

山野上啓子さん(副理事長)、田中哲治郎

## II 障がい者(車いす)も参加する「鎌倉の森を知ろう会」のご案内

プロジェクトの目的に沿って、まずは始めてみようという試みである。障がい者(車いす)に森に入るチャレンジをしてもらう。

1. 日時:2020年11月28日(土)

2. 場所: 鎌倉広町緑地

集合: 10時(予定) 鎌倉広町緑地管理事務所 鎌倉市津 1133 番地  
TEL:0467-32-5112

広町緑地の入口は5か所で「御所谷入口」は湘南モノレール「西鎌倉駅」から徒歩約10分。ただし江の島行き、湘南モノレール「西鎌倉駅」にはエレベーターがないので、車いすの人は、J大船駅東口から江の島行き江ノ電バスで「津村」停留所下車(モノレール西鎌倉駅のすぐ近く)。あるいは藤沢駅南口から小動循環バスで「津村」停留所下車。詳細はまた連絡します。

### ● 「西鎌倉駅」から御所谷入口への地図



管理事務所の駐車場は1台分しかない  
ので、車で行く希望  
の人は前もって連絡  
ください。2台以上  
の場合対応を検討  
します。

(ご参考)

11月1日(日)に長谷川孝一さんが、鎌倉市民活動フェスティバルで展示・プレゼンした内容(=本プロジェクトの全体計画)の最後の部分  
これが本プロジェクトで実施していくおおよその内容です。

## 市民活動連携による「森にいこう!」の事業計画案

団体・サークル・個人・行政が互いに納得できるアクションプランを生み出し  
連携してイベントをデザインし四季折々に実施していく

体験活動を提供

森を案内する  
団体・グループ

体験の企画を創る

団体・グループ間の  
共働・創造の場

市民活動  
センター  
(NPOセンター  
鎌倉、大船)

森で活動する  
団体

企画、コーディネートと広報支援

機会と場所の提供

### <共働・想像の活動の例>



**春** 新緑の瑞々しい森 春の体験アクティビティ  
親子、身障者の方の自然体験・タケノコ間伐作業 etc.



**夏** 生命にむせかえる森 夏の体験アクティビティ  
尾根道ハイキング・虫取り・そうめん流し etc.



**秋** 紅葉にぎやかな森 秋の体験アクティビティ  
親子、身障者の方の自然体験・尾根道ハイキング etc.



**冬** 空が澄み渡る森 冬体験のアクティビティ  
森の間伐作業・自然体験・子どもの遊び etc.

「森にいこう!」への参加は、  
季節ごとの活動へ参加されたい方は、オリエンテーションに  
参加頂けます。または、NPOセンターのホームページ内の  
ご案内を読みいただき、お問い合わせ申し込みをお願いする  
予定、『森にいこう!』のメールにて受け付け準備中です。

[moriniiko@... .com](mailto:moriniiko@...)

